

議 事 日 程 （第 4 号）

令和 3 年12月21日（火曜日）午前10時 開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 諸般の報告
- 日程第 3 報 第 21 号 委員長報告
- 日程第 4 請願第 3 号 コロナ禍による米価下落の対策を求める請願
- 日程第 5 議 第 119 号 下呂市まち・ひと・しごと情報交流施設の指定管理者の指定について
- 日程第 6 議 第 120 号 下呂市下呂上ヶ平サンビレッジの指定管理者の指定について
- 日程第 7 議 第 121 号 下呂市フィッシングセンター水辺の館の指定管理者の指定について
- 日程第 8 議 第 123 号 下呂市観光交流センターの指定管理者の指定について
- 日程第 9 議 第 124 号 下呂市道の駅南飛騨小坂はなももの指定管理者の指定について
- 日程第10 議 第 125 号 下呂市基金条例の一部を改正する条例について
- 日程第11 議 第 126 号 下呂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- 日程第12 議 第 127 号 下呂市体育施設条例の一部を改正する条例について
- 日程第13 議 第 128 号 下呂市分担金徴収条例の一部を改正する条例について
- 日程第14 報 第 22 号 委員長報告
- 日程第15 議 第 122 号 下呂市道の駅馬瀬美輝の里の指定管理者の指定について
- 日程第16 報 第 23 号 委員長報告
- 日程第17 議 第 129 号 令和 3 年度下呂市一般会計補正予算（第13号）
- 日程第18 議 第 130 号 令和 3 年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第 3 号）
- 日程第19 議 第 131 号 令和 3 年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第 3 号）
- 日程第20 議 第 132 号 令和 3 年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第 3 号）
- 日程第21 議 第 133 号 令和 3 年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第 3 号）
- 日程第22 議 第 134 号 令和 3 年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第 2 号）
- 日程第23 議 第 135 号 令和 3 年度下呂市水道事業会計補正予算（第 4 号）
- 日程第24 議 第 136 号 令和 3 年度下呂市下水道事業会計補正予算（第 3 号）
- 日程第25 議 第 137 号 令和 3 年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第 2 号）
- 日程第26 議 第 138 号 令和 3 年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第 5 号）
- 日程第27 議 第 139 号 調停の成立について
- 日程第28 議 第 140 号 財産の無償貸付について
- 日程第29 議 第 141 号 令和 3 年度下呂市一般会計補正予算（第14号）

日程第30 議員派遣について

日程第31 閉会中の継続調査申出について

出席議員（14名）

議長	一 木 良 一	1 番	鷺 見 昌 己
2 番	田 口 琢 弥	3 番	飯 塚 英 夫
4 番	森 哲 士	5 番	田 中 喜 登
6 番	尾 里 集 務	7 番	中 島 ゆき子
8 番	田 中 副 武	9 番	今 井 政 良
10番	伊 藤 嚴 悟	12番	吾 郷 孝 枝
13番	中 島 新 吾	14番	中 島 達 也

欠席議員（なし）

地方自治法第121条の規定により説明のため会議に出席した者の職・氏名

市 長	山 内 登	副 市 長	田 口 広 宣
教 育 長	細 田 芳 充	会 計 管 理 者	熊 崎 美津恵
総 務 部 長	河 尻 健 吾	市 長 公 室 長	野 村 穰
教 育 委 員 会 長	吉 田 修	建 設 部 長	野 村 直 己
観 光 商 工 部 長	細 江 博 之	環 境 部 長	小 畑 一 郎
健 康 福 祉 部 長	今 瀬 成 行	金 山 病 院 長	加 藤 和 男
農 林 部 長	都 竹 卓	生 活 部 長	藤 澤 友 治
消 防 長	遠 藤 英 幸	金 山 振 興 長	澤 田 勤 之
萩 原 振 興 長	松 井 克 彦	下 事 務 振 興 長	河 合 正 博
馬 瀬 振 興 長	見 廣 洋 始	小 事 務 振 興 長	中 原 則 之

本会議に職務のため出席した者の職・氏名

議 会 事 務 局 長	加 藤 鈴 彦	書 記	今 井 満
-------------	---------	-----	-------

◎開議の宣告

○議長（一木良一君）

おはようございます。御苦労さまでございます。

ただいまの出席議員は14人で、定足数に達しております。

直ちに本日の会議を開きます。

なお、報道機関、広報「げろ」及び下呂ネットサービスより取材の申込みがございましたので、これを許可いたします。

◎会議録署名議員の指名

○議長（一木良一君）

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、14番 中島達也君、1番 鷺見昌己君を指名いたします。

◎諸般の報告

○議長（一木良一君）

日程第2、諸般の報告を行います。

専決処分事項の報告は、お手元に配付のとおりでありますので御覧願います。

◎報第21号について

○議長（一木良一君）

日程第3、報第21号 委員長報告を行います。

本定例会において付託しました日程第4、請願第3号 コロナ禍による米価下落の対策を求める請願、日程第5、議第119号 下呂市まち・ひと・しごと情報交流施設の指定管理者の指定について、日程第6、議第120号 下呂市下呂上ヶ平サンビレッジの指定管理者の指定について、日程第7、議第121号 下呂市フィッシングセンター水辺の館の指定管理者の指定について、日程第8、議第123号 下呂市観光交流センターの指定管理者の指定について、日程第9、議第124号 下呂市道の駅南飛騨小坂はなももの指定管理者の指定について、日程第10、議第125号 下呂市基金条例の一部を改正する条例について、日程第11、議第126号 下呂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について、日程第12、議第127号 下呂市体育施設条例の一部を改正する条例について、日程第13、議第128号 下呂市分担金徴収条例の一部を改正する条例について、以上10件を一括議題といたします。

審査結果について、所管委員長の報告を求めます。

産業経済常任委員会委員長 尾里集務君。

○産業経済常任委員長（尾里集務君）

おはようございます。

産業経済常任委員会委員長報告をさせていただきます。

12月15日水曜日午前9時30分から、下呂庁舎3階第1会議室において、委員会を開催いたしました。委員全員、市長、副市長、担当部課長出席の上、令和3年第8回下呂市議会定例会において当委員会に付託されました議第121号から議第124号、議第128号及び請願第3号の計6議案について審査を行いました。

請願第3号を除く5議案の審査結果につきましては、全て可決すべきものと決しました。

審査の一部を紹介いたします。

議第123号 下呂市観光交流センターの指定管理者の指定については、指定管理者となる団体の選定を特定指名により一般社団法人下呂温泉観光協会とするものでありますが、委員からは、公募によらず特定指名に至った経緯や施設の運営方針などについて質問がありました。執行部からは、当該施設をエコツーリズムやDMOなどを含め下呂市全体の観光交流の拠点として考えると、施設の運営には相当の技量とノウハウを必要と判断し、下呂市内の旧町村全ての観光協会と密接な連携があり下呂駅前の総合観光案内所の運営などで実績のある団体の特定指名に至った旨の説明を受けました。また、施設は、下呂温泉を核として、下呂温泉のみならず市内全体へ観光客を呼び込み、送り込む施設であることを確認いたしました。

次に、議第124号 下呂市道の駅南飛騨小坂はなももの指定管理者の指定についてですが、委員からは、当該施設は地元にとっても雇用の創出など重要な施設であり、近年は赤字経営を強いられているようであるが、指定管理料の積算は妥当なのかと質問がありました。執行部からは、指定管理者となる団体と度重なる協議を重ね、また過去4年間の純利益を参考として指定管理料を積算し、収益については小まめな催しの開催などにより増益に努めたい旨の説明がありました。

最後に、請願第3号 コロナ禍による米価下落の対策を求める請願については、現状では本議会単独での意見書の提出では実現性も乏しく、不採択とすべきものと決しました。委員会では、コロナ禍で農業者の経営と地域経済を守るためには、米の需給環境の改善や米価下落への歯止めをかけることは必要であり、十分理解できると意見もありました。

以上、委員長報告とさせていただきます。

○議長（一木良一君）

続いて、総務教育民生常任委員会委員長 中島ゆき子さん。

○総務教育民生常任委員長（中島ゆき子君）

委員長報告を申し上げます。

令和3年12月16日9時30分から、下呂庁舎第1会議室において、委員全員と議長、執行部からは市長、副市長、教育長、関係部課長の出席をいただき、総務教育民生常任委員会を開催し、令和3年第8回下呂市議会定例会において当委員会に審査を付託されました議第119号 下呂市まち・ひと・しごと情報交流施設の指定管理者の指定について、議第120号 下呂市下呂上ヶ平サ

ンビレッジの指定管理者の指定について及び議第125号 下呂市基金条例の一部を改正する条例についてから議第127号 下呂市体育施設条例の一部を改正する条例についてまでの3議案、合わせて5議案について審査いたしました。

審査の結果、5議案全て全会一致で可決すべきものと決しました。

審査の一部を紹介させていただきます。

議第119号について、下呂市まち・ひと・しごと情報交流施設、オーガニックワークプレイスを拠点とした活動は今後どのように展開されていくかとの委員からの質問に対し、施設の設置目的に沿ってどれだけ成果を上げているか市として十分把握できていないという課題もあり、市としてはこれまで以上に積極的に施設運営に関わり、児童福祉や商工などの部局とも連携を密にしながら指定管理者の活動を支援していきたいと考えていますとの答弁がありました。

以上で、総務教育民生常任委員会の報告といたします。

◎請願第3号及び議第119号から議第121号まで及び議第123号から議第128号までについて（質疑・討論・採決）

○議長（一木良一君）

委員長報告を終わり、これより委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔挙手する者なし〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

まず、本10件に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

次に、本10件に賛成者の発言を許可いたします。

〔挙手する者あり〕

12番 吾郷孝枝さん。

○12番（吾郷孝枝君）

コロナ禍による米価下落の対策を求める請願に対し、賛成討論を行います。

初めに、この請願は、深刻な米価下落の対策を下呂市議会として政府関係機関に意見書を出してくださいと求めたものです。

日本の米作りが大変な危機にある中、コロナ禍による需要減少、在庫の増大で生産者米価が2割から3割も下がりました。農水省の試算でも、1俵1万5,000円は必要とされている生産者米価が1俵9,000円台というひどい落ち込みです。これでは生産コストさえ賄えない状況で、大型農家ほど経営危機が深刻です。とてもじゃないが米作りを続けることができない。もう農業をや

めるしかない」と農家の悲痛な声も上がっています。

今回議会で出された請願の趣旨は、米価が大暴落する中で、政府は米の過剰な在庫を買い上げて大暴落を止めること、また買い上げた米をコロナ危機で生活に困窮する人々への支援に回すことを求めたものです。また国内で米が余っているのに、アメリカから米を毎年77万トンも輸入し続けることを考え直してほしいという切実な訴えです。米の過剰在庫の買上げをという声は、北海道と東北6県のJAの会長さんが連名で緊急要請を行っています。全国知事会も同様の要請をしています。

このように、全国から国へ声を上げることで日本の農政は変えられます。日本の米の生産を守るとは、食料自給率を向上させ、農家と農村の暮らしを維持し、地域を守ることです。おいしい国産のお米を食べ続けたいという国民全体の願いでもあります。日本の米の生産を守る、この一点で下呂市議会も力を合わせ、議会としてできることをやろうではありませんか。

以上を申し上げ、コロナ禍による米価下落の対策を求めるこの意見書を政府関係機関に提出するよう求めている請願への賛成討論といたします。

○議長（一木良一君）

次に、本10件に反対者の発言を許可いたします。

〔挙手する者なし〕

次に、本10件に賛成者の発言を許可いたします。

ほかに討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

討論なしと認めます。

これで討論を終結します。

これより採決を行います。

請願第3号 コロナ禍による米価下落の対策を求める請願、本請願に対する委員長の報告は不採択であります。本請願を採択することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手少数です。よって、請願第3号については、不採択とすることに決定されました。

議第119号 下呂市まち・ひと・しごと情報交流施設の指定管理者の指定について、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第119号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第120号 下呂市下呂上ヶ平サンビレッジの指定管理者の指定について、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第120号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第121号 下呂市フィッシングセンター水辺の館の指定管理者の指定について、委員長の報

告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第121号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第123号 下呂市観光交流センターの指定管理者の指定について、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第123号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第124号 下呂市道の駅南飛騨小坂はなももの指定管理者の指定について、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第124号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第125号 下呂市基金条例の一部を改正する条例について、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第125号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第126号 下呂市国民健康保険条例の一部を改正する条例について、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第126号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第127号 下呂市体育施設条例の一部を改正する条例について、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第127号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第128号 下呂市分担金徴収条例の一部を改正する条例について、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第128号については、委員長の報告のとおり可決されました。

◎報第22号について

○議長（一木良一君）

日程第14、報第22号 委員長報告を行います。

本定例会において付託しました日程第15、議第122号 下呂市道の駅馬瀬美輝の里の指定管理者の指定についてを議題といたします。

本件は、地方自治法第117号の規定により議長は除斥になりますので、副議長に議長の職務を行っていただきます。

副議長と交代のため、暫時休憩します。

〔議長 一木良一君 退場〕

午前10時19分 休憩

午前10時20分 再開

○副議長（田中副武君）

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

地方自治法第106条第1項の規定により、副議長の私、田中副武が議長の職務を行います。

議第122号について、産業経済常任委員会に審査を付託しておりますので、委員長の報告を求めます。

産業経済常任委員会委員長 尾里集務君。

○産業経済常任委員長（尾里集務君）

産業経済常任委員会委員長報告をさせていただきます。

先ほどの委員長報告で申し上げたとおり12月15日水曜日午前9時30分から、下呂庁舎3階第1会議室において委員会を開催いたしました。委員全員、市長、副市長、担当部課長出席の上、令和3年第8回下呂市議会定例会において当委員会に付託されました議第122号 下呂市道の駅馬瀬美輝の里の指定管理者の指定について審査を行いました。

本案件については特に委員からの質問や意見等はなく、可決すべきものと決しました。

以上、委員長報告とさせていただきます。

◎議第122号について（質疑・討論・採決）

○副議長（田中副武君）

委員長報告を終わり、これより委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はございませんか。

〔挙手する者なし〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

まず、本件に反対者の発言を許可いたします。

討論はございませんか。

〔挙手する者なし〕

次に、本件に賛成者の発言を許可いたします。

討論はございませんか。

〔挙手する者なし〕

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議第122号 下呂市道の駅馬瀬美輝の里の指定管理者の指定について、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第122号については、委員長の報告のとおり可決されました。

ここで議長の除斥を解き、入場を求めます。

議長と交代のため、暫時休憩いたします。

午前10時23分 休憩

午前10時24分 再開

〔議長 一木良一君 入場・復席〕

○議長（一木良一君）

休憩前に引き続き会議を再開します。

◎報第23号について

○議長（一木良一君）

日程第16、報第23号 委員長報告を行います。

本定例会において付託しました日程第17、議第129号 令和3年度下呂市一般会計補正予算（第13号）、日程第18、議第130号 令和3年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）、日程第19、議第131号 令和3年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）、日程第20、議第132号 令和3年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）、日程第21、議第133号 令和3年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第3号）、日程第22 議第134号 令和3年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第2号）、日程第23 議第135号 令和3年度下呂市水道事業会計補正予算（第4号）、日程第24 議第136号 令和3年度下呂市下水道事業会計補正予算（第3号）、日程第25 議第137号 令和3年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第2号）、日程第26 議第138号 令和3年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第5号）、以上10件を一括議題といたします。

審査結果について、委員長の報告を求めます。

予算特別委員会委員長 今井政良君。

○予算特別委員長（今井政良君）

おはようございます。

予算特別委員会の委員長報告をさせていただきます。

令和3年12月17日金曜日午前9時30分から、本庁3階第1会議室におきまして、委員13名と議長、執行部からは市長、副市長、教育長、各担当部課長の出席の下、令和3年第8回下呂市議会12月定例会において予算特別委員会に付託されました議第129号から議第138号の一般会計補正予

算、5 特別会計補正予算、4 企業会計補正予算について審査をいたしました。

審査結果につきましては、全議案とも全会一致で全て可決すべきものと決しました。

審査内容につきまして、一部を紹介させていただきます。

1 つ目、地域振興基金の運営についての質問に対しまして、執行部からは、合併で積み残しされた課題を洗い出し、今後の市民サービス、まちづくり、地域振興を充実させるため、合併特例債を財源とし、令和5年度までの3年間で29億円の基金を積み増しし、ハード・ソフト事業の両面で効率的かつ計画的に活用していきたいとの答弁でありました。

2 点目、ゆったり館の今後の運営についての質問に対しましては、閉鎖中の施設を地元商工会からも何とか利活用したいとの相談も受けております。市として施設内の会議室等は引き続き管理や活用を検討するが、経費のかさむ温泉ボイラー等に関わる保守点検部分については、一旦は停止したい。温浴施設についての改修は難しいとの答弁をされました。

3 点目、看護師の修学資金の減額理由についての質問に対しましては、当初は14名を見込んでいましたが、11名になったための減額で、借りていた学生から貸与辞退の申出によるものが主要因で、詳細については不明であるが、市内病院等の看護師募集人員が少ないため就職が見込めないことも要因の一つではないかとの答弁をされました。

4 点目、看護師の修学資金の現行制度と今後の制度見直しについての質問に対しましては、現行制度では、借りた年月の2分の3以上の勤務、3年間借りて5年で返済していただく制度であります。今後は、看護学生が借りやすい制度の見直しを行い、何らかの形で制度は維持していきたいとの答弁でありました。

以上で、当委員会に付託されました案件について、予算特別委員会の委員長報告とさせていただきます。

◎議第129号から議第138号までについて（質疑・討論・採決）

○議長（一木良一君）

委員長報告を終わり、これより委員長報告に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

10番 伊藤巖悟君。

○10番（伊藤巖悟君）

1点だけ確認をします。

今、たしか委員長報告の中で、3年借りたものが5年間の猶予があると、こういう報告だと思うんですけども、5年働けばこれは返還せんでもいいのではなかったかな、その辺の確認。

○議長（一木良一君）

9番 今井政良君。

○予算特別委員長（今井政良君）

ただいまの質問に対して答弁をいたします。

先ほど私が報告しました看護師の修学資金の質問であります。現行制度につきましては、借りた年月の2分の3以上の勤務が必要、3年間借りていただいて5年で返済していただく、一応制度であります。5年働ければ一応返済しないという当初説明であったと思いますが、ちょっとここでのそういった質疑の内容については行われていませんでしたので、報告にしませんでしたので、よろしくお願いします。

〔挙手する者あり〕

○議長（一木良一君）

10番 伊藤厳悟君。

○10番（伊藤厳悟君）

再度言いますが、これは一番大事なことは、市民の皆さんが関心を持ってこの制度に対して聞いてみえる、また見てみえるということもありますので、地元で5年働いてくればこれは返済しなくてもいいと、この辺をやはり強調するのが大事じゃないかなあということだけ申し上げておきます。以上です。

○議長（一木良一君）

答弁はよろしいですか。

〔「いいです」と呼ぶ者あり〕

ほかに質疑はありませんか。

〔挙手する者なし〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

まず、本10件に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

次に、本10件に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

討論なしと認めます。

これで討論を終結します。

これより採決を行います。

議第129号 令和3年度下呂市一般会計補正予算（第13号）、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第129号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第130号 令和3年度下呂市国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第3号）、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第130号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第131号 令和3年度下呂市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第3号）、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第131号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第132号 令和3年度下呂市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第3号）、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第132号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第133号 令和3年度下呂市国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）補正予算（第3号）、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第133号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第134号 令和3年度下呂市下呂財産区特別会計補正予算（第2号）、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第134号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第135号 令和3年度下呂市水道事業会計補正予算（第4号）、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第135号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第136号 令和3年度下呂市下水道事業会計補正予算（第3号）、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第136号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第137号 令和3年度下呂市下呂温泉合掌村事業会計補正予算（第2号）、委員長の報告は可決であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第137号については、委員長の報告のとおり可決されました。

議第138号 令和3年度下呂市立金山病院事業会計補正予算（第5号）、委員長の報告は可決

であります。委員長の報告のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第138号については、委員長の報告のとおり可決されました。

◎議第139号及び議第140号について（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（一木良一君）

日程第27、議第139号 調停の成立について、日程第28、議第140号 財産の無償貸付について、以上2件を一括議題といたします。

初めに議第139号について、提案理由の説明を求めます。

環境部長。

○環境部長（小畑一郎君）

それでは議案書1ページをお願いします。

議第139号 調停の成立について。

調停を成立させたいので議会の議決を求める。令和3年12月21日提出。

提案理由でございます。高山簡易裁判所令和3年（ノ）第11号損害賠償請求調停事件に関し、同裁判所から調停条項が提示され、下呂市と申立人との間でプレス品の買戻し調停に合意したことにつき、地方自治法第96条第1項第12号の規定に基づき、議会の議決を求めるものでございます。

次ページをお願いいたします。

調停の成立について。

1. 当事者、申立人、岐阜県下呂市森1329番地3、株式会社マテリアル東海代表取締役 今井哲夫。相手方 岐阜県下呂市森960番地、下呂市市長 山内登。

2. 事件名、高山市簡易裁判所令和3年（ノ）第11号 損害賠償請求調停事件。

3. 事件の概要、令和2年6月6日、申立人が下呂市から購入したスチール缶プレスを販売先に売却しようとしたところ、異物混入を理由に拒否された。その後、保管するアルミ缶プレスを試行的解体したところ、異物混入が確認された。このため、有価物として取引することが困難として損害を負ったことによる損害賠償を求める調停が令和3年4月26日に申し立てられたものでございます。

4. 調停条項、第1項、相手方下呂市は、平成27年4月から令和2年5月までの間に申立人に売却したアルミ缶プレスのうち、4万1,250キログラム相当のアルミ缶プレスを売却金額と同額（消費税込みの総額が同額の意）の金578万1,534円（消費税含む）の金額で買い戻すこととし、申立人はこれを了承した。

第2項、①申立人は、第1項の買戻し対象の申立人倉庫所在のアルミ缶プレスの選別、積込作業をし、下呂市萩原町四美所在の下呂市一般廃棄物埋立最終処分場まで運搬し、相手方下呂市に引き渡す。

②上記第2項①の引渡し期限は、令和4年2月28日限りとし、申立人においてできる限り前倒しで実行する。ただし、不測の事態で期限が遵守できない場合、申立人と相手方下呂市は、期限変更の協議を誠実に行う。

③相手方下呂市は、引渡しされた買戻し対象の数量等を確認次第、速やかに第1項の買戻し代金を申立人に支払う。

④上記第2項①に係る引渡費用は相手方下呂市が負担するものとし、相手方下呂市は、その費用として、申立人に対して、金437万2,500円（消費税含む）を引渡終了確認後速やかに支払う。

第3項、相手方下呂市は、令和2年5月までの間に申立人に売却したスチール缶プレスのうち、申立人倉庫に残存するスチール缶プレス全て（100トンから150トンを想定）を1キログラム当たり13円の単価（消費税別）の金額で買い戻すこととし、申立人はこれを了承した。なお、買戻し対象のスチール缶プレスの計量方法については、別途相手方下呂市と申立人において協議決定する。

第4項、①申立人は、第3項の買戻し対象のスチール缶プレスを申立人倉庫敷地所在の現況で相手方下呂市に引き渡すこととし、相手方下呂市は自己の費用で積み込み及び運搬作業をし、申立人は相手方下呂市の作業着手及びその完了の立会いを行い、相手方下呂市から作業上の申出があった場合はその都度協議に応じる。

②上記第4項①の引渡期限は、令和4年3月31日限りとし、申立人と相手方下呂市においてできる限り前倒しして実行する。

③相手方下呂市は、引渡しされた買戻し対象の数量等を確認し、運搬作業が終了次第、速やかに第3項の買戻し代金を申立人に支払う。

第5項、申立人と相手方下呂市及び申立人と有限会社中澤クリーン社との間において、令和2年5月までに相手方下呂市が申立人に売却したアルミ缶プレス及びスチール缶プレス並びにそれらの処理に関して、本調停条項に定めるほか、何らの債権債務のないことを相互に確認する。

第6項、調停費用は、各自の負担とする。

5. 補足事項、調停条項第5項に登場する当事者と3者での調停合意でございます。

以上、御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（一木良一君）

次に、議第140号について提案理由の説明を求めます。

金山振興事務所長。

○金山振興事務所長（澤田勤之君）

議案書の5ページをお願いいたします。

議第140号 財産の無償貸付について。

次のとおり財産を無償貸付する。

1. 無償貸付する財産、旧下呂市立菅田小学校の土地及び建物。詳細は別紙のとおりでございます。

6 ページをお願いいたします。

土地、下呂市金山町菅田桐洞117番地1、並びに60番地2、登記地目は学校敷でございます。
登記地積、合計で2,547平米。貸付面積、登記地積のうち601.785平方メートル。

建物、下呂市金山町菅田桐洞117番地1。建物の名称、旧菅田小学校校舎。構造、鉄筋コンクリート造3階建て。延べ床面積、1,802.785平方メートル。

5 ページにお戻りください。

2. 無償貸付する相手方、東京都豊島区西池袋五丁目1番3号メトロシティ西池袋4階リングロー株式会社代表取締役 碓 敏之。

3. 無償貸付する理由、令和3年3月31日をもって廃校になった本施設について、上記相手方より有効活用したいとの申出があり、その利活用の用途が地域振興に資するため無償貸付するもの。

4. 無償貸付の期間、使用貸借契約締結の日から令和9年3月31日まで。令和3年12月21日提出。

提案理由でございます。

地方自治法第96条第1項第6号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

御審議よろしくをお願いいたします。

○議長（一木良一君）

これより、本2件に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔挙手する者あり〕

13番 中島新吾君。

○13番（中島新吾君）

最初に議第139号 調停の成立について質問します。

今議案を読み上げられました。一番最初に、調停を成立させたいのではっきり書いてあります。市が調停に取り組むための前段階で議決を求めているものです。ですから、調停が成立したとき、この地方自治法の96条に定められているように、成立した調停の議決、これが必要になるわけですね。

まずこの点を確認めます。教えてください。

○議長（一木良一君）

環境部長。

○環境部長（小畑一郎君）

こちらの案件につきましては、地方自治法第96条第1項第12号ということで提案させていただいております。

自治法の96条については議決案件が示されておりまして、その中で調停事案に関わるものについては議会の議決が必要ということで、今回の提案に至っております。それでこの後、調停を成

立させるという行為が行われるということになりますけれども、現在の状況では、今3者合意ということで提案させていただいておりますけれども、3者が調停条項に対しまして合意している状況、ただし正確には、調停を成立させるためには裁判所立会いの下での合意が必要となります。その前段として、その調停の内容につきまして、市としてはこういった公的機関ですので、議会の議決が法により求められていますので、この議決を求めるという内容で提案をさせていただいております。以上です。

〔挙手する者あり〕

○議長（一木良一君）

13番 中島新吾君。

○13番（中島新吾君）

それを分かって今聞いたんですが、ですからここで議決をすると、これは議会としての機関決定なんですよ。機関の議決なんです。議会での議決というのは、もう一つ下呂市としての団体の意思を決定する議決、これが最終的な決定ですよ。ですから、今回やるのはその前提としての議決ですから、団体意思を決定する議決が必要ではないですかというふうに聞いたんです。

今の答えでは、それは答えになっていませんのでお答えください。

それから、この議第139号を審議するためには、さっきの部長のお答えだとかこの議決でと言われますけれども、その議決をこれでいいのか、賛成するのか反対するのかという判断をする材料としての資料が、私たちはあまり持っていません。今まで議会に報告されたのは、圧倒的に口頭報告です。

今出された議案の中に、アルミ缶プレスにも異物混入があったのだとか、異物混入を理由に拒否され市で引き取れという、そういう文章はあるんですけども、その裏づけと言うんですか、事実についての経過だとか、その業者との契約内容だとか、そういうのは全く私たちは資料としてないわけですね。そういう中で議決をしと言われても、要するに材料がないわけですから非常に厳しい。これについてやっぱり資料と、それから審議する時間というのが必要だと思うんですが、この点についてもお答えください。

○環境部長（小畑一郎君）

今回、調停の条項、内容については、今列記させていただいております。これをもって議会について御判断いただきまして、これをもって調停に臨むということになります。当然、これは議決内容はこの条項の内容ですので、これともし状況が変わるようでしたら当然再議決が必要ということをお認識しております。

それから、材料がないということについてですが、こういった紛争の事案という特殊な内容だったということもありまして、その都度、口頭ではありますけれども、出せる情報は今まで出してきたつもりで思っております。確かに不足していたということであれば不足していたのかもしれませんが、出せる情報については出させていただいたという認識でおりますし、こういった紛争の事案というのは途中経過をお話しすることは非常に難しいというふうに認識しております。

というのは、相手方があるものですから、こういった公的な場を出していくというその危険性というのは非常に考えておりますので、決まった時点で確実なところを出させていただいたということで、審議時間が少ないという部分は否めませんが、この事案につきましては令和2年6月からということで、当事者間とはかなり膝を突き合わせて話を詰めてまいりました。最終的にこういった調停事案に発展したわけですが、その中でも市の方針としては最初から一貫して変わっておりません。その中でお互いに歩み寄れるところは歩み寄っていただいて、今回の調停条項が定められたというふうに認識しておりますので、不足の部分、もし分からないことがあれば今回、この本議会の中で説明させていただきますのでよろしくお願いいたします。

○議長（一木良一君）

ほかに質問はありませんか。

質問は2回、原則2回とまでして、決められておりますのでよろしくお願いいたします。

ほかに質疑はありませんか。

〔挙手する者あり〕

7番 中島ゆき子さん。

○7番（中島ゆき子君）

今ほど説明をいただきました4番の調停条項(2)のところで、四美の最終処分場での下呂市が引渡しを受けるということが書いてありますが、引渡しを受けましたアルミ缶プレスにつきまして、その後いつまでそこに置いておくのか、どのようにされるのかについて教えてください。

○環境部長（小畑一郎君）

まず、四美の最終処分場のほうにアルミ缶プレスを搬入するという内容となっております。これはあくまで仮置きということで考えております。

四美の最終処分場につきましては、一応今年度で埋立処分としての用を終えるという部分もございますので、仮置きですので早期に運び出しということをお願いしていきたいと思っております。

この後、補正予算のほうも出させていただいておりますが、今回の事案につきましては買戻しということで、市が売り渡したアルミ缶プレス、そしてスチールプレスにつきまして、同じ同額で買い戻すという内容となっております。当然それを引き取った上で市が保管する必要はないものになりますので、それを引き取っていただくということで、そういった全体的な枠組み、市は買い取る、それを業者に引き取っていただくということで、枠組みができたということで調停条項に盛り込まれておりますし、調停に至ったというふうに認識しております。

〔挙手する者あり〕

○議長（一木良一君）

7番 中島ゆき子さん。

○7番（中島ゆき子君）

今ほど、できるだけ早期にその場所から移動というお話でしたけど、しっかりやっぱり日にち、

何日間の間に移動するという、ここは最終処分場ですので、また今ほど話されたみたいに今年度中、来年3月末までしか使わないというところですので、やはりいつまでも置いておくということはおかしいのではないかと思いますので、その辺期間を定めてほしいというところと、後ほどの予算のほうにも関係しますが、そのアルミ缶の移動、あとプレス缶については今あるところへ下呂市が取りに行くという形になっておりますけど、その移動への費用、この2点の費用についてはどうされるのかについて教えてください。

○議長（一木良一君）

環境部長。

○環境部長（小畑一郎君）

アルミ缶プレスにつきましては、調停条項の中で整理をさせていただいております。金額も明示しておりますので、アルミ缶プレスの引渡費用ということで、議案書3ページになりますけれども一番最上段のほうに437万2,500円ということで、これが引渡費用ということで市が負担して申立人のほうに支払うというお金になります。

それからアルミ缶プレスにつきましては、こちらのほうに金額が入っておりません。こちらについては、調停条項の中では、市の自己の費用で積み込み及び運搬作業をするというような記載になっております。この意味につきましては、今回は、今申立者と市との関係ということになりますけれども、当然運び出した後のプレス品のその先の関係がございますので、そちらについては市と委託業者との関係ということになってまいります。その中で整理をさせていただくということで、基本的にはアルミ缶プレス、それからスチール缶プレスのもの、売り渡したものの買い戻した金額、それからそれに係る運搬費というものについてその委託業者の方に引き取っていただく、御負担いただくという形の骨組み、枠組みということで整理をさせていただいております。

○議長（一木良一君）

ほかに質疑はありませんか。

〔挙手する者あり〕

14番 中島達也君。

○14番（中島達也君）

残念ですけど、毎年こういった係争案件といいますか、発生するわけですが、一応調停を成立させたいという案件で、これに反対することはないんですけど、市民目線からいいますと、何でもこういうことが発生しておるんやと、要は品質管理というのはどうなっておるんやと、再発防止はどうするんやという話が、その辺のところがきちんと説明されていないと。

今、例えばペットボトルを考えてくださいよ。今市民に、中をしっかりと洗って、それから上端のラベルはしっかりと取ってくださいということを求めているわけですね。本家本元の下呂市の品質管理は一体何だと。それから委託業者へのそういった品質といいますか、そういう指導はどうなっておるのか。異物混入なんてことは本当に考えられないですよ。ちょっとその辺の説明をしてください。

○議長（一木良一君）

環境部長。

○環境部長（小畑一郎君）

ただいまの委託業務のやり方ということでの御質問だと思います。

こちらにつきましては、資源ごみということでアルミ、それからスチールに分別、選別させていただいて、それをプレスして有価物として売却しているという流れになります。その業務につきましては市が外部委託をしているものでございます。当然、外部委託につきましてはその仕様書というのがございまして、その中で整理されております。

今回、異物が混じったということは市のほうも確認しておりますし、業者の方についてもそれについては認識を、異物が入っていたということについての実認識はされております。

ただ、市の考え方として、プレス品をどう見るかということがありますけれども、100%アルミ、100%スチールということというのは、もともとが資源ごみということで、出されるときに缶の中にいろいろくぎとか何かが混入したり、いろんな部分で混入するのは一部はどうしても発生するというふうで、完全な100%というところは非常に厳しいものがあると思います。その中で、しっかりなるべくその精度が上がるような形で選別していただくようなことで、今回こういった事案を受けまして仕様書の内容も変更させていただいております。

それから、今回事案を受けたのは北部のリサイクルセンターということになるんですけれども、そちらでのプレス作業は今現在行っておりません。全部クリーンセンターのほうへ持ってきてやっているということで、その事案発生後につきましては、しっかりそういうことが再発しないような対応を市としても取らせていただいております。

今回、その異物が入ったということについては市も認識しておりますし、その辺については異論はないところですが、ただし、ただどうしてもその市の主張のほうとしましても、100%というのは非常に厳しいというところで、その辺は申立人との主張がちょっと異なるところではございますけれども、そういった契約不適合といいますか、不法行為といいますか、そういったことについては、今回特に調停条項を見ていただいても分かるとおりに明らかにされております。

まずは、今回異物が入って買われた方が売れないという状況で困っているという状況を受けまして、市として対応できる方策を模索させていただきまして、委託業者との理解もいただきまして、今回こういった枠組みになったということで、市としては今回の事案に関して入と出を組ませていただいたということで、金銭的には、金銭的にはかかっていないということですし、今中島議員が言われましたようにこういったことが度々起きてはいけませんので、しっかりそのなぜ起きたかというところをしっかりと検証させていただいて、二度とこんなことが起きないような体制ということをやっていく必要があると思いますし、市が委託していることになりますので、市の管理責任も非常に重いと思っておりますので、その辺しっかりやっていきたいと考えております。

[挙手する者あり]

○議長（一木良一君）

14番 中島達也君。

○14番（中島達也君）

どちらにしても、来年の4月から金属のも飲食用と一応分けるということが始まりますし、恐らくは将来的にアルミ缶とスチール缶の選別も、恐らく市民に求めていかれると思いますので、とにかく市民に求める以上はしっかり本件はやってもらわないと理解は得られないと思いますのでよろしくお願いします。

○議長（一木良一君）

市長。

○市長（山内 登君）

本件、議員のおっしゃるとおりでございます。この案件を見ても平成27年4月からということで、かなりやっぱ前からアルミ、金物これが混合してごみとして収集をされておると。当然そこで磁石とかでこうやって選別をしながらやるんですが、当然混じるのはそういうやり方をやっておれば混じるのはやむを得ない部分もあるかというふうに思います。

ただ、今廃棄物の対策審議会も立ち上げております。アルミ、金物、本来は当然分けて出すのが当たり前でございますので、その辺を我々としても深く反省をしながら、また新しく袋も別々にしますし、市民の方々にもそういうことをしっかりとお願いをしながら、我々もしっかりとその辺の選別方法について検討してやっていきたいというふうに考えております。

また、四美の最終処分場に仮置きをさせていただきますが、業者のほうからも可及的速やかに移動するというのを我々も聞いておりますし、我々もその辺りはしっかりと管理するというか、監視するというか、見て、当然向こうは仮置きしたものを売られるということになるので、その辺のいつまでという時間的なものは具体的には申し上げられませんが、可及的速やかに移動していただくよう、我々もしっかりと監視体制を取ってやっていきたいと、このように考えております。

[挙手する者あり]

○議長（一木良一君）

10番 伊藤巖悟君。

○10番（伊藤巖悟君）

この問題、随分いろいろな面で皆様方が悩んで見えた問題だと思いますが、やはりこれ、一つ一つ整理をしていかんといかんというのが今の現状であろうと。したがって、先ほどの話を聞いておると、今日議会で議決をして、その材料をもって調停で臨むと、こういう経緯が今後あるんであるということの今日は会議というふうに私は理解をしておりますが、そこで言いたいのは、来年の4月で四美区との契約が切れると、この現状がありますので、どうか四美の区長さんはじめ区民の皆さんに今の仮置き場の件はしっかりと説明をし、理解をしていただいて、この

作業に今後当たっていただきたい、こういうことを私は要望をしておきます。

これがやはり大事で、また不安に不安をあおるようなことの今後ないように、しっかりと行政として管理監督をしていくと、こういうことを約束していただきたいとお願いをしておきます。

○議長（一木良一君）

副市長。

○副市長（田口広宣君）

ただいま御指摘がありました四美地元区とは、しっかりと話を当然してまいりましたし、今後もしてまいります。

なお、四美の最終処分場につきましては、3月31日の供用終了後も2年間は環境のアセスをして被膜のものから漏れないかとかいうこともしっかりありますので、その点も含めてしっかり地元区に説明をしてまいりたいと思います。よろしくお願いします。

○議長（一木良一君）

ほかに質疑はありませんか。

〔挙手する者なし〕

これで質疑を終結いたします。

お諮りします。ただいま説明いただきました議第139号及び議第140号については、会議規則第37条第3項の規定によって委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって議第139号及び議第140号については委員会付託を省略することに決定いたしました。

これより討論を行います。

まず、本2件に反対者の発言を許可いたします。

〔挙手する者あり〕

13番 中島新吾君。

○13番（中島新吾君）

私は、議第139号 調停の成立について反対討論をします。

先ほど質疑でも指摘しましたように、今回の議決は、下呂市議会としての意思決定の議決です。団体としての下呂市の意思決定ではありませんので、調停が成立した上において議決が必要だというふうに考えられます。

この事件は、市が訴えられた事件です。ですから、その内容が市民の立場から検討して妥当なものであるかどうか、これを判断するのが私たちの議会、そして議員の役割だというふうに考えます。それを判断する材料が十分に出されていない、この今の時点で議決をするということは、つまり議員と議会は市政をチェックする、この重要な役割があるわけですから、それを考えて、その立場でこの議第139号に賛成はできないということを表明したいと思います。

○議長（一木良一君）

ほかに討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

次に、本２件に賛成者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

次に、本２件に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議第139号 調停の成立について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手多数です。よって、議第139号は、原案のとおり可決されました。

ここで休憩をいたします。再開は午前11時25分といたします。

午前11時16分 休憩

午前11時25分 再開

○議長（一木良一君）

休憩前に引き続き会議を行います。

議第140号 財産の無償貸付について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手全員です。よって、議第140号は、原案のとおり可決されました。

◎議第141号について（議案説明・質疑・討論・採決）

○議長（一木良一君）

日程第29、議第141号 令和３年度下呂市一般会計補正予算（第14号）を議題といたします。

初めに議第141号について、提案理由の説明を求めます。

市長。

○市長（山内 登君）

ただいま上程されました議第141号 令和３年度下呂市一般会計補正予算（第14号）につきまして、提案理由の御説明を申し上げます。

今回の補正は、直ちに対処する必要がある事務及び年度内に事業を完了するために直ちに着手しなければならない案件を上程させていただいております。

その内容の１点目は、損害賠償請求事件に係る解決金、２点目は、旧小・中学校の民間利活用

の促進と、社会体育施設の円滑な利用確保のための機能分離のための経費でございます。

詳細につきましては総務部長が説明をいたしますので、よろしくお願い申し上げます。

○議長（一木良一君）

次に、議第141号について、詳細説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（河尻健吾君）

それでは、議第141号 令和3年度下呂市一般会計補正予算（第14号）の詳細説明を申し上げます。

議案書の7ページをお開きください。

令和3年度下呂市の一般会計補正予算（第14号）は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正でございます。歳入歳出の総額にそれぞれ2,230万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出とも276億4,463万6,000円とするものでございます。款項の区分、金額等は、第1表 歳入歳出予算補正によります。令和3年12月21日提出。

内容につきましては、事項別明細書にて説明をいたします。

10ページをお開きください。

歳入でございます。

19款繰入金、1項基金繰入金、1目基金繰入金1,000万円の増額は、今回の補正の財源調整のため財政調整基金から繰り入れるものでございます。

21款諸収入、5項雑入、2目弁償金1,230万円の増額は、缶プレス損害賠償請求事件の調停により引き取ったプレス缶に係る弁償金でございます。

11ページをお開きください。

歳出でございます。

2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費の77万円の増額は、缶プレス損害賠償請求事件の調停に係る弁護士費用の不足分を増額するものでございます。

4款衛生費、2項清掃費、2目塵芥処理費1,230万円の増額は、缶プレス損害賠償請求事件の調停に係る解決金でございます。

10款教育費、1項教育総務費、2目事務局費425万9,000円の増額は、旧菅田小学校の民間事業者への貸付に向けた社会体育施設との機能分離工事費などでございます。

12ページをお願いします。

10款教育費、5項保健体育費、2目体育施設費499万5,000円の増額は、旧馬瀬中学校の民間譲渡に伴う社会体育施設の機能分離工事などでございます。

14款予備費は、歳入歳出額の財源調整として2万4,000円を減額するものでございます。

以上で、令和3年度下呂市一般会計補正予算（第14号）の説明を終わります。御審議のほどよろしくお願いいたします。

○議長（一木良一君）

これより本件に対する質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔挙手する者あり〕

13番 中島新吾君。

○13番（中島新吾君）

先ほどの議第139号でも反対討論しましたが、この補正予算の中で調停条項に係る衛生費における賠償額が計上されていますけれども、これは調停が成立して決定する額です。したがって、ここで議決をされても、賠償額についての決定というのは団体の意思として決定すべきであって、再度議決が必要だと思うんですが、これについてどうお考えですか。

○議長（一木良一君）

総務部長。

○総務部長（河尻健吾君）

今回、賠償金として1,230万円の計上をさせていただいております。これが、調停が例えば不調に終わった場合につきましては不足分等、また調停による金額について、議会のほうに補正予算を上げさせていただいて議決をいただくという手続になろうかと思います。以上でございます。

〔挙手する者あり〕

○議長（一木良一君）

13番 中島新吾君。

○13番（中島新吾君）

変更されたら議決するけど、このままだったらしないというお答えですね。

というのは、私は議会の議決は必要だと思うんですね。議員は、全国町村議会議長会編集の「議員必携」という本をもらっています。それを読むと、この地方自治法96条第1項第13号で、法律上その義務に属する損害賠償の額を定めることと、先ほどの12号の次の13号にはそういうふうに明記してあります。その説明が、本来異例の支出に属するものであるから、その責任の所在を明らかにするとともに、賠償額の適正を期するために議会の議決を必要としたものでありというふうに記載されています。その意味で、私は改めて議決が必要だというふうに思いますので、この点についてもう一度お答えください。

それから、先ほどの議第139号でも質問しましたがけれども、今度はその賠償額を決定する補正予算ですが、それを判断するための材料としての資料、経過だとか先ほど議第139号のときに言いましたので重ねて言いませんけれども、そういう判断するための材料としての資料がない中で、ここを議論していくのは非常に厳しいなあというふうに思うんですが、これについてもお答えください。

○議長（一木良一君）

環境部長。

○環境部長（小畑一郎君）

先ほど調停条項につきましてお認めいただいたということです。調停条項の中には、当然金額も出ております。調停条項に伴う予算というのは、当然、なければ調停に臨むことができませんので今回提案をさせていただいたということで考えております。

確かに資料がないというところにつきましては、御質問いただければこの中でしっかり説明させていただきますと思います。

○議長（一木良一君）

ほかに質疑はありませんか。

〔挙手する者なし〕

質疑なしと認めます。

これで質疑を終結いたします。

お諮りします。ただいま説明いただきました議第141号については、会議規則第37条第3項の規定によって委員会付託を省略したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議あり」と呼ぶ者あり〕

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

では、この採決については、起立をもって採決をしていただきます。

この会議規則第37条第3項の規定によって、議第141号について、委員会付託を省略することに賛成の方は起立をお願いします。

〔賛成者起立〕

委員会付託を省略することに賛成の方は多数でございますので、省略することを決定いたしました。

では、これより討論を行います。

まず、本件に反対者の発言を許可いたします。

〔挙手する者あり〕

13番 中島新吾君。

○13番（中島新吾君）

議第141号の補正予算（14号）に反対討論をします。

今質疑でも言いましたように、団体意思の決定をするべきだというふうに、まず指摘したいと思います。

先ほどの議第139号でも反対討論で言いましたように、判断する十分な資料や状況を考えるものが十分にありません。その中でこの賠償額、これでいいのか、その判断は今の段階ではできないと言えます。

市民にとってこの損害賠償、妥当なものなのか、その判断ができかねます。市民に説明できない決議はできないということで反対をします。

なお、この補正予算の中の教育費に係る予算については、早期の事業が求められており問題はないものです。これには賛成します。さきに反対理由を述べたこの調停関係の予算と一つになっ

て、一緒になって提案されているので、議案としては反対せざるを得ませんので反対しますが、教育関係のものについては賛成です。

○議長（一木良一君）

次に、本件に賛成者の発言を許可いたします。

〔挙手する者なし〕

次に、本件に反対者の発言を許可いたします。

討論はありませんか。

〔挙手する者なし〕

討論なしと認めます。

これで討論を終結いたします。

これより採決を行います。

議第141号 令和3年度下呂市一般会計補正予算（第14号）、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

挙手多数です。よって、議第141号は、原案のとおり可決されました。

◎議員派遣について

○議長（一木良一君）

日程第30、議員派遣についてを議題といたします。

お諮りします。議員派遣については、会議規則第167条の規定により、お手元に配付のとおり派遣することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、議員派遣については、派遣することに決定をいたしました。

◎閉会中の継続調査申出について

○議長（一木良一君）

日程第31、閉会中の継続調査申出についてを議題といたします。

各常任委員長、議会運営委員長及び各特別委員長から、会議規則第111条の規定により、お手元に配付しました申出書のとおり、所管事務等について閉会中の継続調査の申出があります。

お諮りします。各委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議なしと認めます。よって、各委員長からの申出のとおり、閉会中の継続調査とすることに決定をしました。

ここで、市長より発言の申出がありましたので、許可いたします。

市長。

○市長（山内 登君）

議長のお許しをいただきましたので、12月議会定例会の閉会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

市議会におかれましては、本会議に、また各委員会におきまして慎重なる御審議を賜り、誠にありがとうございました。

本年も昨年に引き続き、災害への復旧対応や新型コロナウイルス感染症との闘いに終始した1年となりましたが、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力により、何とか乗り切ることができたのではないかと感じております。

来年も新型コロナウイルス感染症との闘いは続くものと思われませんが、当面の重要課題であるワクチンの3回目接種を混乱なく、そして一日でも早く、一人でも多くの市民の方々に接種していただけるよう全力で取り組んでまいります。また、検査、医療提供体制の強化が進み、行動規制が緩和される中、長引くコロナ禍で影響を受けた市内の経済、そして観光、そして市民生活に対する支援もしっかりと行ってまいります。

そして市長に就任して3年目となる来年は、公約にもうたいました下呂市が持っている多くの可能性に挑戦し、わくわくするまちづくりを進めてまいります。現在それぞれプロジェクトチームや審議会を立ち上げ、公約実現に向けた検討を進めており、市民の皆様の御意見もしっかりと反映させながらやってまいりたいと思っておりますので、今後ともお力添えを賜りますよう重ねてお願いを申し上げます。

最後になりますが、新しい年が議員各位並びに市民の皆様方にとって健康で幸多き年となりますことを心から御祈念申し上げまして、12月定例会閉会に当たっての御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

◎閉会の宣告

○議長（一木良一君）

これをもちまして、本定例会に付議されました議案は全て議了いたしました。

これで、令和3年第8回下呂市議会定例会を閉会いたします。御苦労さまでございました。

午前11時44分 閉会

以上会議の次第を記載し、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和3年12月21日

議 長 一 木 良 一

副 議 長 田 中 副 武

署名議員 14番 中 島 達 也

署名議員 1 番 鷺 見 昌 己